

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム	評価対象年度	平成27年度
事業者名	株式会社藤子ミュージアム ・代表者 代表取締役 伊藤 善章 東京都新宿区西新宿6丁目22番1号	評価者	市民文化振興室長
指定期間	平成23年7月15日～平成33年3月31日	所管課	市民文化局市民文化振興室

2. 事業実績

※[]内は平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)実績

利用実績	<p>平成27年度総入館者数:465,685人〔前年:474,667人〕</p> <p>【内訳】</p> <p>大人・大学生 325,799人 70.0%〔前年:331,958人、69.9%〕</p> <p>高校生・中学生 13,860人 3.0%〔前年:13,781人、2.9%〕</p> <p>こども 89,277人 19.2%〔前年:92,780人、19.6%〕</p> <p>無料入館者 36,749人 7.8%〔前年:36,148人、7.6%〕</p> <p>うち外国人入館者数 82,527人、19.2%〔前年:53,488人、12.2%〕</p> <p>(※無料音声ガイド「おはなしデンワ」に基づく集計)</p>
収支実績	<p>1 指定管理事業</p> <p>収入 522,501,221円〔前年:520,450,967円〕</p> <p>支出 501,774,167円〔前年:508,718,989円〕</p> <p>→収支決算 20,727,054円〔前年:11,731,978円〕</p> <p>2 自主事業収支</p> <p>収入 291,799,402円〔前年:338,246,806円〕</p> <p>支出 238,776,341円〔前年:272,170,224円〕</p> <p>→収支決算53,023,061円〔前年:66,076,582円〕</p> <p>3 当期収支差額</p> <p>73,750,115 円〔前年:77,808,560円〕</p> <p>4 次期繰越額</p> <p>662,911,077円〔前年:589,160,962円〕</p> <p>※うち400,000,000円はH23藤子プロからの寄附金</p>
サービス向上の取組	<p>自主事業</p> <p>■ミュージアムオリジナル玩具(ガシャポン)・ブリクラの販売</p> <p>万人に選ばれやすい価格設定で提供。玩具の内容も更新した。</p> <p>■音声ガイド(おはなしデンワ)の提供</p> <p>作品を鑑賞しながら理解を深められるよう、4歳以上の全来館者に対し作品の説明やエピソードを収録した音声ガイドを無料貸与した(大人用のほか子ども向けも用意。外国人向けには英・中・韓の3カ国語で提供)。また展示替え等に合わせ、内容を新たに更新した。</p> <p>■包装菓子等の販売</p> <p>来館者向けに3階「はらっぱ」においてミュージアムオリジナルのお土産販売を行ったほか、夏場は飲み物等を販売した。</p> <p>その他</p> <p>行政財産の目的外使用として「藤子・F・不二雄ミュージアム製作委員会」が運営しているカフェ・ショップと連携して、広報や案内を実施した。</p> <p>■ミュージアムカフェ(参考)</p> <p>キャラクターにちなんだオリジナルメニューを揃えたカフェを営業。各種フェアや季節毎の限定メニューなど工夫を凝らした新メニューを考案し提供した。</p> <p>■ミュージアムショップ(参考)</p> <p>オリジナルアイテムが豊富なグッズショップを営業。各種フェアにあわせて新アイテムを取り揃えた。</p>

3. 評価

※●は新規事項、○は継続事項

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	8	4 (H26 4) (H25 4)	6.4
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
事業成果	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	4 (H26 4) (H25 4)	4.8
		当初の事業目的を達成することができたか			
魅力の向上	魅力の向上	川崎市の魅力の増進に寄与しているか	6	5 (H26 5) (H25 5)	6
(評価の理由)					
<p>【利用者満足度】 ○来館者に出口アンケートを行い原画展やフェア、カフェ・ショップ等に対する満足度を調査したところ、5点評価のうち原画展について平均4.3点をマークした。 ●外国人入館者も満足いただけるよう、風除室での館内利用案内時にディスプレイにあわせて中国語の音声ガイドを流したり、館内サインの見直しを行うなど利用者満足度の向上に努めている。 ○お客様アンケート(2,460枚)を継続的に実施し、これらの情報をスタッフ全員で共有するとともに運営に反映させている。特に屋外での休憩スペースに対しての利用者ニーズを踏まえ改善を行った。 ●留め置きアンケートや来館者に対する出口アンケート項目を見直し、来館回数や来館者のより詳細な動向やニーズを把握するとともに、住所を記入いただいた方には展示更新の案内状を送付する(981通)などリピーターの確保にも取り組んだ。 ○定期的に展示更新やキャンペーンを実施するとともに、季節に合わせたイベントを複数回行ったほか、巨大な七夕の笹・クリスマスツリーなど季節感のある展示物をみんなのひろばに設置し写真スポットとなるような場所づくりを行った。</p> <p>【事業成果】 ○7月から開始した原画展「のび太の日本誕生と時空の旅」は、翌年3月に公開される映画ドラえもんの内容発表にあわせた広報を行ったり、連動した内容の原画を数多く展示したことで、平成26年度の年間入場者数に対して約98%の入館者数を維持することができた。 ●ホームページから情報を得る入館者が多かったことを踏まえ、ホームページ訪問者の動向を分析し、写真を多くしたり、求められる情報にアクセスしやすい構成にデザインをリニューアルした。またミュージアム情報とともに、生田緑地や市・区など地域の話・出来事等を日々更新するブログ、公式SNSから最新の情報配信を継続実施した。(平成28年3月末 Facebook:いいね!数15,000 [前年9,700], Twitter:フォロワー数9,800 [前年4,800])</p> <p>【魅力の向上】 ●ミュージアム開館から約4年経った10月14日に入館者数が200万人を突破し、メディアに「川崎市」のミュージアムとして取り上げられた。 ●藤子プロ等と連携を図り、藤子・F・不二雄生誕80周年を記念して高岡・広島・上田で開催した「藤子・F・不二雄展」(総来場者数約20万人)に協力し、首都圏だけでなく、全国各地でのミュージアムの広報及び本市の魅力の増進に貢献した。また、12月1日に開館した「高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー」では、作品の貸し出しを行うとともに、本市ミュージアムを紹介するコーナーを設置した。 ●外国人に対する広報強化のため英語版チラシを新たに作成した。羽田空港国際線ターミナル内の観光案内所で配布したほか、本市の観光プロモーション部門とも連携し、ミュージアムで作成したチラシを海外で開催される観光フォーラム等にて配布している。 ●ミュージアムが作成したテレビ用CM映像を、藤子プロや協賛会社等との連携により、テレビ放送のほか虎ノ門ヒルズ内のモニターや小田急電鉄の車内モニター、チケット販売会社が渋谷の街頭で展開している大型ビジョンにおいて定期的に放映するなど、関連企業との関係を通じてミュージアムと本市を全国にPRすることができた。</p>					
効率的・効果的な支出	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	8	3 (H26 3) (H25 3)	4.8
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組が為されたか			
収入の確保	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	4 (H26 4) (H25 4)	4.8
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
適切な金銭管理・会計手続	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	6	4 (H26 4) (H25 3)	4.8
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由)					
<p>【効率的・効果的な支出】 ○前年度比約98%の入館者数ではあるが、指定管理事業において負担金等収入を確保できたことから約2,000万円の黒字となり、事業を行うにあたって必要な経費を支出できている。</p> <p>【収入の確保】 ○目的外使用許可により別途運営しているミュージアムショップ・カフェについて、施設側でショップ・カフェ関連の問い合わせ対応を多数行っていることや魅力あるミュージアム運営がショップ・カフェの利用を促進させていることから、ミュージアム製作委員会等から給与負担金や展示物負担金を得ている(給与負担金…給与手当の1/2相当額 展示物負担金…7月、11月、1月の展示替えに係る費用の1/2相当額)。 ○自主事業においては、ガシャポンの中身を更新したり、どら焼きなど魅力のある包装菓子を積極的に投入することで約5,300万円超の黒字となるなど、入館料以外での収入源を確保しており安定した事業運営に寄与している。</p> <p>【適切な金銭管理・会計手続】 ○職員に税理士の有資格者を配置しさらに会計参与(税理士)のアドバイスを受けながら処理しており、適切かつ厳格なチェック体制のもと金銭管理・会計手続を行っている。</p>					
収支計画・実績	収支計画・実績	計画に基づく適正な支出が行われているか	8	3 (H26 3) (H25 3)	4.8
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組が為されたか			
収入の確保	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	4 (H26 4) (H25 4)	4.8
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
適切な金銭管理・会計手続	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	6	4 (H26 4) (H25 3)	4.8
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由)					
<p>【効率的・効果的な支出】 ○前年度比約98%の入館者数ではあるが、指定管理事業において負担金等収入を確保できたことから約2,000万円の黒字となり、事業を行うにあたって必要な経費を支出できている。</p> <p>【収入の確保】 ○目的外使用許可により別途運営しているミュージアムショップ・カフェについて、施設側でショップ・カフェ関連の問い合わせ対応を多数行っていることや魅力あるミュージアム運営がショップ・カフェの利用を促進させていることから、ミュージアム製作委員会等から給与負担金や展示物負担金を得ている(給与負担金…給与手当の1/2相当額 展示物負担金…7月、11月、1月の展示替えに係る費用の1/2相当額)。 ○自主事業においては、ガシャポンの中身を更新したり、どら焼きなど魅力のある包装菓子を積極的に投入することで約5,300万円超の黒字となるなど、入館料以外での収入源を確保しており安定した事業運営に寄与している。</p> <p>【適切な金銭管理・会計手続】 ○職員に税理士の有資格者を配置しさらに会計参与(税理士)のアドバイスを受けながら処理しており、適切かつ厳格なチェック体制のもと金銭管理・会計手続を行っている。</p>					

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	指定管理業務や自主事業が仕様書や事業計画等に基づいて適切に提供されたか	8	5 (H26 5) (H25 5)	8	
		基本理念等に基づき、適切なサービスが提供されたか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		新規及びリピーター確保に向けた付加サービスの取組が為されているか				
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	4 (H26 4) (H25 4)	4.8	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	6	4 (H26 4) (H25 4)	4.8	
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
	地域貢献・他施設との連携	地域や生田緑地の施設等との連携は適切に実施されたか	4	5 (H26 5) (H25 4)	4	
	(評価の理由)					
	<p>【適切なサービスの提供】</p> <p>●旅行会社との連携により平成25年度から海外向け団体受入を開始した結果、27年度は年間1,061名を受け入れることができた(前年比約103%増)。個人で来館した外国人も含めると82,527人(言語別音声ガイドから算出)にのぼり、前年より約3万人多い外国人を受け入れた(前年度比約167%増)。</p> <p>●国内団体チケットの管理をローソングループに一元化する体制を整え、3ヶ月前末日で締め切っていた団体予約を20日前まで受け付けるシステムを構築した(運用は平成28年度から)。</p> <p>●外国人から問い合わせの多い周辺の飲食店情報マップを作成・配布したり、チケット購入方法がわからず直接来館した人に多言語版のチケット購入方法チラシを配布している。</p> <p>●公式SNSを活用し、開館から1293日目に来館したSNS読者に非売品缶バッジをプレゼントする企画を実施したり落ち葉アートの写真を掲載して話題になるなど、様々な情報発信を行った。</p> <p>○夏休み期間(46日間)には開館時間を1時間延長して19時まで営業を行い、遠方からの来館者等へのサービス向上を図った。</p>					
	<p>【業務改善によるサービス向上】</p> <p>●クレジットカードでの決済・購入に対応し、国内外におけるチケット購入時の利便性向上を図った。さらに、外国人向けにチケット発券をわかりやすくするよう、チケット予約・発券端末「ロビー」の利用方法を英語・簡体字・繁体字で表示するシステムを導入した。</p> <p>●特に多い中国人来館者に対し館内ルールをよりわかりやすく伝えるため、中国語の音声案内データを制作し、入口風除室内で使用するようにした。</p> <p>○前年度に続き、平日16時の有料入館者に4つの特典がある特別サービス“SF(スペシャル・フォー)”を期間限定で実施した。</p> <p>○台風や大雪など天災のため来場が困難な場合だけでなく、来館者の急な体調不良時も振替対応できるよう体制を整え、74件の振替対応を受け入れた。</p>					
	<p>【利用者の意見・要望への対応】</p> <p>●アンケート等で寄せられた来館者の意見を踏まえ、屋外での休憩スペースを充実させ、より快適に楽しんでもらえるよう配慮した。</p> <p>●留め置きアンケートや来館者に対する出口アンケートの項目を見直し、来館回数や来館者のより詳細な動向・ニーズを把握するとともに、住所を記入いただいた方には展示更新の案内状を送付するなどリピーターの確保にも取り組んだ。</p> <p>○遺失物の問い合わせに対し、電話対応をはじめ検索・送付作業を行うなどの対応を行った。</p>					
<p>【地域貢献】</p> <p>●より地域と密着した身近なミュージアムとなるよう、地域のお祭りで子ども用法被に付けるキャラクターのワッペン提供や地元小学校への小学生新聞の協賛、地元町内会への加入などの取組を進めている。</p> <p>○より多くの子どもたちに作品を鑑賞してもらうため、市内小学校の団体入館に対し割引制度(500円→400円)を実施した。</p> <p>○ミュージアム周辺に設置されているキャラクターのモニュメントや橋の欄干のレリーフなどの清掃を適宜実施した。</p> <p>○カワサキハロウィンでの特別賞贈呈や川崎国際多摩川マラソン、多摩川リバーサイド駅伝in川崎での賞品提供を行った。</p> <p>○市と連携して7月1日の市制記念日に「市民招待デー」を開催し、市民557組1,844人が訪れた(応募総数5,676通、20,587人)。</p> <p>○来館者が周辺地域を訪れてもらえるよう、市と連携して制作したミュージアム周辺地域の周遊マップや市・区の情報誌を館内に設置した。</p> <p>○生田緑地サマーミュージアム、多摩区民祭など生田緑地や地域で行われるイベント等に参加し、ミュージアムの広報とともに地域との連携に取り組んだ。</p> <p>○市内利用者の増加を目的として、JTB市内8店舗において市民優先販売を行った。</p> <p>○生田緑地にある美術館・博物館と連携し「夏休みスタンプラリー」を実施したことで、生田緑地近隣の回遊性の向上に貢献した。(夏休みからシルバーウィークを含む9月末まで実施、約8,000名が参加)</p>						

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	6	4 (H26 4) (H25 3)	4.8
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	2	4 (H26 4) (H25 4)	1.6
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	5 (H26 4) (H25 4)	4
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3 (H26 3) (H25 3)	2.4
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか				
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	4 (H26 4) (H25 4)	1.6	
<p>(評価の理由)</p> <p>【適正な人員配置】 ●作品のアーカイブ事業をさらに進めるため、平成27年度より藤子プロから人員派遣を受け入れミュージアムの調査・研究に取り組んでいる。 ○ミュージアムの基本理念でもある「ホスピタリティ(おもてなし)」を実現するため十分な人員配置を行っている。経理業務に税理士資格を持った職員を配置しているほか、学芸員の資格を取得している広報職員が、ミュージアムや作品により精通した職員として展示・企画部門の業務を担当するなど、より良い施設運営を目指した効果的な人員配置を行っている。</p> <p>【連絡・連携体制】 ○所管課との定例会議を月1回実施した。事前に課題を洗い出し所管課との情報共有・課題解決ができたほか、開館5周年に向けた計画や建物補修、緊急時の対応の協議など中長期的な視点での検討も行っている。</p> <p>【担当者のスキルアップ】 ●外国人来館者が増えていることを踏まえ、ミュージアム運営に特化した内容で英会話講習を実施し延べ140人のスタッフが参加した。 ○職員採用においては、藤子氏及び藤子氏の作品が大好きであることを条件とするほか、徹底したおもてなしの心を持った職員を育てるため、各種マニュアルの充実を図るとともにOJTによる技術研修など様々な教育・研修を実施しており、来館者へ質の高いサービスを提供できている。</p> <p>【安全・安心への取組】 ●警察署、消防署、区役所等関係各機関と連携し、テロ対策訓練を初めて実施した。 ○事故・災害発生時の対応マニュアルに基づき、総合防災訓練を実施するほかエリア別の避難誘導訓練、停電時を想定した訓練、消防設備取扱訓練、救急救命講習を実施するなど、多くの来館者を受け入れる施設として毎月多様な訓練、取組を実施している。 ○県内で噴火の恐れがあるとの情報を受け、いち早くマスク・ゴーグルなどを調達するなど日頃から危機管理意識が高い。</p> <p>【環境負荷の軽減】 ○作品を忠実に演出する演色性の高い展示用LED照明を採用し、省電力化と長寿命化を推進している。 (2012年度「省エネ・照明デザインアワード」を受賞) ○ミュージアム設置のガシヤボンカプセルはメーカーに回収を依頼し再資源化を行っている。 ○屋上に太陽光発電装置を設置し、館内での消費電力の一部を発電によって賄っている。 ●屋外のクリスマスツリーの装飾にクリスタル球を使用し、昼間も太陽光で楽しめるほか夜間は下からの光のみで楽しめる演出とし、環境に配慮した取組を行った。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	18	4 (H25 4) (H24 4)	14.4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立つしているか			
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や点検、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>○施設・設備の保守管理については、来館者の安心・安全・快適性を確保するとともに効果的・効率的な施設の維持管理を行うため、各種設備のマニュアルのほか中長期修繕計画なども参考にした維持管理計画に基づき実施している。空調設備など使用頻度の高いものは設備の仕様以上に点検を行っている。 ○清掃業務・警備業務・植栽管理など施設・設備の保守管理業務については、専門業者に再委託し適正に実施されている。 ○備品管理については、基本協定に基づき備品台帳を整備するなど適切に管理されており、ミュージアムで使用される備品や消耗品はミュージアムの一体感・雰囲気づくりを考えて用意されている。 ○衛生面については、常に館内外の「清潔さ」を保つよう配慮されており高いレベルで管理されている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	82	評価ランク	A
	(H26 81.2)		(H26 A)
	(H25 78.0)		(H25 B)

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

川崎市藤子・F・不二雄ミュージアムは、「多摩丘陵の恵まれた自然の中で、川崎市ゆかりの漫画家藤子・F・不二雄氏の作品の展示等を通じて、当該作品に込められたメッセージを子どもをはじめとするすべての世代に伝えることにより、市民の文化芸術活動の振興及び本市の魅力の増進に寄与する」ことを目的として設置した芸術文化施設である。

基本理念として、藤子・F・不二雄氏の作品等に込められた「夢」「希望」「勇気」「友情」「大いなる好奇心」そして「人を愛する優しい気持ち」などのメッセージを幅広い世代に伝えていくことを掲げており、具体的には「まんが文化」「遊びゴコロ」「SF—すこしふしぎ—」「コミュニケーション(ふれあい)」「新しい発見」「自然」「ホスピタリティ(おもてなし)」をミュージアムづくりの基本としている。

全体評価にあたっては、これらの目的及び基本理念を踏まえて評価を行う。

平成27年度は指定管理期間の5年目であり、通年開館としては4年目である。

藤子・F・不二雄氏の生誕80周年記念として2013年から行われ、全国各地で引き続き開催された「藤子・F・不二雄展」における藤子プロとの協力・連携のほか、チケット販売会社や関連企業とも積極的に連携し、広報活動を行った。

昨年度から開始した原画展「パーマンとFヒーローたち」に続き、7月からは原画展「のび太の日本誕生と時空の旅」を開催した。

季節毎のイベント・キャンペーンにも積極的に取り組み多くのメディアでも取り上げられた結果、総来館者は465,685人であった。特に海外からの来館者数は前年度より3万人程度上回っており、国内のみならず海外からも多くの方々々が藤子氏の作品世界を体感でき、ミュージアム及び本市の魅力発信に繋がっている。

指定管理業務としては、主にミュージアムの展示企画業務、施設運営業務、維持管理業務、その他管理運営に必要な業務があるが、各々の分野で昨年度の実績を踏まえより良いミュージアムづくりを行っている。

○展示企画業務

映画と連動した作品をテーマとした原画展を通年で行ったほか、季節に合わせた原画展示や平日16時の回に学芸員によるワンポイント講座を行ったり展示リストを配布したりする特別サービス“SF(スペシャルフォー)”を期間限定で実施するなど、展示の充実工夫を加えている。また作品のアーカイブ事業に人員を増やし本格的に取り組を開始した。

○施設運営業務

指定管理事業において適正に収支状況を把握し昨年に引き続き黒字収支となった。

また外国人来館者の増加に伴い、英語チラシの制作・配布やチケット購入手続き時の画面の多言語表示、スタッフの英語教育など、ホスピタリティをもって受け入れられるよう体制を整えている。団体での来館に対しても、直前までチケットが購入できるよう仕組み作りを行った。

藤子プロ等関係事業者と連携し効果的な広報を行い、ミュージアムについてメディア等で多数取り上げられ本市の魅力の発信に大きく貢献したことに加え、地元町内会や団体への協力も行き近隣住民にとって身近なミュージアムとして浸透するような取組も行っている。

○維持管理業務

各種設備点検や各種訓練等を確実に実施したほか、警察・消防と連携しテロ対策訓練を初めて実施するなど、施設としての危機管理意識を高く保っている。また、清掃など衛生面についても全体として高い水準で業務を遂行できている。

以上のことから、平成27年度の全体評価としては、持続的・安定的な運営に向けた新たな取組をはじめ、引き続き質の高いサービスを来館者に提供しており、適正に指定管理業務を実施することができたと言える。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

①収支については、指定管理事業及び自主事業ともに黒字を確保しており、当期の繰越金を次期以降の事業資金として充当することとしていることから安定した事業運営が実施できていると考える。引き続き、収支計画を踏まえた効果的・効率的な執行や経費節減に取り組むこと。

②今後のミュージアムの持続的・安定的な運営に向け、さらに利用者満足度やニーズを把握・分析しながら引き続き効果的な手法を取り入れ、ミュージアムの魅力をより多くの方々を感じてもらい、リピーターの確保に繋がる取組や地域の方々々に愛着を感じてもらえるような取組に努めること。

③2020年の東京オリンピック・パラリンピックを好機と捉え、国内外に向けた本市の魅力発信拠点として本市の広報・観光事業等とも密接に協力・連携し、指定管理者ならではのネットワークやノウハウを引き続き活用しつつ、国内外から一層多くの方々を訪れるようミュージアムの魅力を活かした管理運営を行うこと。